

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒時 等の家族歴	睡眠覚醒時 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の作 用歴	異常な行動に 関する既往歴	継続投 与例			
10	B07027596	3	年	男性	遊戯 幻覚	2008/02/07 2008/02/08	21:00 9:30	2008/02/07 2008/02/07	22:00 22:00	○	-	30分	10分	No	発熱持続中	-	No	Yes (発熱時 に怖い事 を見る)	-	No	No	2008/02/07 (10:00)インフルエンザA型と診断。(21:00)A型インフルエンザに對して、タミフル25mg内服。(22:00)熱感あり、寝たかと思うとわっと叫んで「何かがある」と言う。テレビを指差して「あーあー」「まーまー」と訳のわからないことを言いながらクワンをふる。10分位でおさまって入眠。(23:00)朝ふんたんに入っていたのが起きて走り出す。10分程で止まる。 2008/02/08 (13:00)朝また騒ぐ。(9:00)朝起きてすぐまた「わーっ」と騒ぐ。体温38.4℃。朝食はふだんの半分くらい食べた。(9:30)本剤12.5mg内服(香味のため半分でやめた)。	
11	B02001480	4	年	男性	①妄想 ②幻覚	2002/2/5 2002/2/8	夜 朝	2002/2/5 2002/2/8		×	-	-	-	-	Yes	-	-	-	-	不明	投与開始当日 体温:39.3℃。1カプセル投与1時間後(夜間)に妄想、幻覚が出現。その後、妄想、幻覚は、おさまった。 投与開始翌日 朝、1カプセル服用2時間後に幻覚、妄想が出現。来院後、タミフル投与中止。(本人が包丁を持ち出した。その事を知っていると、持ち出したことは覚えていないとのこと)。		
12	B05000976	4	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動 ③尿失禁	2005/3/11 3/12~3/13	夕 朝・夕	2005/3/13	12:00	×	No	-	13日5分 14日10~15分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	無	意識がもうろう状態で、意味不明の発語をしながら火がついたように泣き、母親を抱きつく。母の膝の上で尿失禁をする。夜、経路中突然起き上がり叫ぶ。壁を打つ。即ち等の異常行動となり、母親が声をかけやなだめしても全く反応し、10分から15分くらいすると自然に再入眠をする。このような行動を1時間毎に4~5回繰り返した。 異常行動が30~40分、その後大声で奇声を発し、低ええように走りまわる。大人二人でかろうじて押さえる。単なる興奮というよりも、抑制しないと飛び出しかねないような暴れ方、事故につながりかねない様子。つじつまはあっているがしゃべりまくっていた。	
13	B06024911	4	年	男性	①激越 ②異常行動	2007/2/28	夕方	2007/2/28	17:00頃	-	No	30分×数回 (くり返し)	No (くり返した)	解熱過程	No	No	No	-	No	無	母親が姉を保育園に送っている間目を離した間に、道路を全速力で走り、家につれて帰った後は、ベランダの欄を這えようとしていた。		
14	B07000057	4	年	男性	異常行動	2007/2/28	不明	2007/2/28	服用30分後	-	No	-	-	No	発熱持続	-	No	No	-	不明	母親が姉を保育園に送っている間目を離した間に、道路を全速力で走り、家につれて帰った後は、ベランダの欄を這えようとしていた。		
15	B07000106	4	年	男性	激越	2007/3/18	19:00	2007/3/18	20:00	-	-	-	1回目は数 分で回復 2回目は1 時間以内 に回復	2回目の異 常興奮以 降は完全 に回復	発熱持続	-	No	No	No	有(不明)	2007/3/18 午前中から39~40℃の発熱があり、休日診療所を受診した。インフルエンザA型と診断。タミフル、ムコダインを処方された。自他覚所見:39℃~40℃発熱、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、(19:00)本剤、ムコダインを服用した。(20:00)大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。(23:30)大声をあげて、押さえつけていないと動き出すような暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になった。本剤は中止とし、観察目的で入院した。以後、静注のみで観察したが、異常行動、けいれん、異常発音などはなく、 2007/3/22 退院。		
16	B07000286	4	年	男性	①激越 ②異常行動 ③筋骨格硬直	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00 18:00 8:00 18:00	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00~14:00 18:00~ 23:00 8:00~14:00 18:00~ 23:00	×	No	-	5~6時間	Yes	発熱持続 解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/10 (8:00頃)インフルエンザAに對して、タミフル86mg×2回/日投与開始、コケッコーと言ったうわごと(非重篤)を著して、表情もこわばり(非重篤)、走り出すため、親が抱きかかえていた。(14:00頃)本剤服用後8~7時間後に症状消失。(18:00頃)本剤投与、症状出現。(23:00頃)症状消失。 2007/03/11 (8:00頃)本剤投与、症状出現。(14:00頃)症状消失。(18:00頃)本剤投与、症状出現。(23:00頃)症状消失。3/10~11で計4回本剤投与一症状発現を繰り返した。 2007/03/13朝本剤内服後、投与中止、症状全て回復。	
17	B07004784	4	年	女性	異常行動	2007/3/15 2007/3/15	12:00 20:00	2007/3/15	20:00	○	Yes	-	1分	Yes	発熱持続	-	No	-	-	熱性虚驚	睡眠障害を思わせる既往なし。 不明 今年、予防接種2回施行。 2007/3/14 (4:00)発熱。(午前)当院初診。インフルエンザウイルス抗原迅速検査(鼻をかんだ鼻汁液体を行ったが陰性であった。トミン朝錠180mg分、ムコダイン朝錠450mg分、カロナール朝錠150mg服用を投与した。 2007/3/15 (午前)解熱せず再求した。鼻咽喉通液を用いて検査を行った。所、インフルエンザと診断。(12:00)本剤30mg/回投与。(20:00)本剤30mg/回投与。異常行動出現。寝ていて夜中に突然起き上がり、同じ部屋のTVの方へ歩いていった。目は開けていたがうつろであった。口を動かす、もごもごしていたが、意味は不明であった。会話は成立しなかった。1分位で横になって静かに眠りに就いた。 2007/3/16 (朝)覚醒し、以降異常は認められなかった。異常行動軽快。本剤は以降服用しなかった。 2007/3/17 (朝)解熱した。		
18	B07018038	4	年	男性	異常行動 異常行動	2005/03/14 2007/03/03 2007/03/03	不明 13:10 23:50	2005/03 2007/03/04	3:00	○	Yes	-	10~15分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	No	2005/03/14(17:00)体温38℃。(18:00頃)当院受診し、本剤処方。 2005/03/15 夕方には解熱。この間、大声で叫ぶという異常行動を起こす(出現時間不明)。 2007/03/02 (17:00)体温 38.7℃。 2007/03/03 (13:10)体温 40.1℃。本剤1回目服用。(23:50)体温 40.0℃。本剤2回目服用。 2007/03/04(3:00) 体温 37.9℃。目を開いたまま、立ったり、さわたり、定たりが10~15分続くと、就寝中、突然起き上がりおぼろげに「何か見える」と叫ぶ。目を開いた状態で激しく走り出す。母親が部屋で怒鳴りながら走り出す。ソファの上で立ったり座ったり、何かをつかもうとする。その後、意識がぼんやりして見えていない。	
19	B07025210	4	年	女性	低体温 異常行動	-	-	2008/1/31 2008/1/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 不明	2008/01/29AM 本剤3日分処方。 2008/01/30夜 体温38℃。 2008/01/31朝 体温34.2℃に低下。低体温 発現。 不明 夜間にうろろろしていた。異常行動 発現。 不明 低体温、異常行動 軽快。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を出現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を出現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	発熱歴 発熱 発熱 発熱	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	嘔吐 嘔吐 嘔吐	腹痛 腹痛 腹痛	光に対する 反応	他剤による 「異常な行動」 の既往	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように感じているのか？)	根拠 と 例
20	B07027782	4	年	男性	異常行動	2008/2/28 2008/2/28	2008/2/28 2008/2/28 2008/2/29 2008/3/1	○	-	-	-	-	発熱後	No	No	No	No	No	-	2008/02/28 インフルエンザA型治療のため本剤処方。(午前)本剤服用。昼寝でいて キャンセルした。異常行動(非重篤)発現。(午後)本剤服用。夕方解熱剤を服用。夜も キャンセルした。 2008/02/29 熱は下がった。夜キャンセルした。顔をぶつけてくる感じがした。 2008/03/01 夜中に急に泣きだす。泣きだすと泣きだす。泣きだすと泣きだす。泣きだすと泣きだす。 2008/03/02 朝に異常な行動。異常行動。回復。 2008/04/14 父親より、服用中止してから全く異常なく、健康とのこと。	
21	B04008530	5	年	男性	譫妄	2004/2/8 2004/2/8 2004/2/7 2004/2/7 2004/2/5 2004/2/5 2004/2/9	2004/2/6~ 2004/2/7	-	-	-	24hr以内	Yes	発熱持続	-	No	No	No	No	-	2004/02/05 夕方、インフルエンザ発症。 2004/02/06 38.3℃の高熱を主訴として来院。インフルエンザ抗原検査にてA 型と判明。(AM10:20)タミフル内服。(PM8:15)本剤内服。体温:40.2。夜~7日明 け方にかけて40℃の高熱が続く。 2004/02/07 明け方、鼻が出たと言って、興奮して家の中を走り回っていた。い わば譫妄状態に陥った。(AM10:45)本剤内服 (PM8:35)本剤内服 体温:37.0。 同日、譫妄回復。 2004/02/08 (AM10:30)本剤内服 体温:36.7 (PM8:00)本剤内服 体温:36.2 2004/02/09 (AM7:45)本剤内服。体温:36.0℃	*
22	B05024864	5	年	女性	譫妄	2008/02/08	2008/02/08	○	Yes	1	No	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	-	突然起き上がりして服を脱ぎ捨てている。しかし目つきはおかしい。そして母 の服に安んずる小さな黒い虫がつかれているとか、シールがついているからとそれを 剥がそうとしたり、毛布をアイスと書いて口にくわえたり、そばに友達がいる何々 したらダメとか何を言っていてなど話したりする。夢遊病の様に立って歩い たりもした。ほとんど眠らなくなりこのような症状が続いた。	
23	B05025565	5	年	男性	譫妄	2008/2/21	2008/2/21	-	-	-	数~30分	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/3 本剤服用し、異常行動(重篤度不明)発現。 2008/2/19 (朝)患児の母、発熱。 2008/2/20 患児の母、インフルエンザA型と診断。 2008/2/21 発熱。当科受診。インフルエンザA型と診断。本剤内服開始した。 (薬)本剤60mg服用。(14:00頃)30分ほど意識状態(昏睡、走り回る、ないものをあ ると言ふ)となった。(16:00頃)30分ほどの状態となった。(19:00頃)本剤2回目60mg 服用。(21:00過ぎ)30分ほど意識状態となり、救急受診、入院した。 2008/2/22 発熱。 2008/2/24 発熱中止。 2008/2/25 増悪なく退院。	※
24	B08025200	5	年	女性	異常行動	2007/2/20	2007/2/20	×	安眠出来て いない。夜 中の尿床→ うらうらと している状態か ら発現	-	6時間	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	-	2007/2/20 インフルエンザA型と診断。タミフル89mg×2回/日処方。(朝)本剤 内服したが嘔吐。この時期は発熱にかかわらず、特に異常行動を認めなかつ た。(19:00)タミフル内服。体温:39℃。朝は嘔吐してしまつたので、実際には夜だ け服用。内服後寝かしつけていたが、うとうとしている状態が続いていた。(20: 00)服用後1時間くらいから異常行動発現。症状としては夜から朝までわけのわ からない行動が続き、一晩中眠れなかった。タミフルを服用させ、寝かせようとし たが、うつつうつつしている状態でふとんを投げ出したりする行動が出現した。 2007/2/21 (3:00~5:00)明け方より熟睡。おそらく熱は下がっていたと思われる が不明。異常行動回復。 2007/2/28 インフルエンザ:軽快・回復	不明
25	B08025337	5	年	女性	異常行動	2007/2/5	2007/2/5	○	Yes	1.5時間	約2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	-	2007/2/5 (17:00)インフルエンザに対して、タミフル内服。(20:30)就寝。(22:00) 異常行動発現。急に起き上がり、嘔吐し、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や 自分の本もを必要以上にさすっていた。心配になった両親が救急車を呼び、 搬送。 2007/2/6(0:00)就寝。(~4:00) (5:00)就寝。(~8:00)熱も下がり、退院。異常行動回復。	不明
28	B07000128	5	年	女性	①異常行動 ②意識レベルの底 下	2007/3/19	2007/3/20	×	No	-	1分以内	Yes	高熱(1は 事業2は解 熱後)	No	No	No	-	No	-	2007/3/19 (午前)39.6℃の高熱あり受診。インフルエンザA型と診断。(14:00頃) 本剤1回分33mg服用。 (20:00頃)急にかけ出して転倒した。眼球上転あり。意識はすぐに回復するも、そ の間の記憶はなかった。 その後本剤服用せず。 2007/3/20 (12:00頃)トイレに歩き出した後、眼前暗黒となり倒れかかり、母親 が支えられた。意識消失は無かつた。またこの時発熱は無かつた。	無
27	B07003175	5	年	男性	①虚驚 ②異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27	2007/2/24	○	Yes	-	Yes	No	-	-	No	No	Yes	No	-	2007/02/24(午前)39.8℃で来院。インフルエンザA型と診断。(10:00)本剤内服 後就寝。(夕)本剤内服。(19:30)布団から急に立ち上がりカミのように歩き回る。 カーテンを開けて外を見、虚驚し倒れた。 2007/02/25 他院に一時入院。入院中も本剤内服継続。 2007/02/26 退院。(午前)37.1℃。朝、本剤内服。(昼過ぎ)37.8℃。「空を飛んで 死にたい」と言った。(夜)本剤内服。 2007/02/27(昼過ぎ)再び「死にたい」と発言。37.0℃。 2007/02/28 本剤1日分残っていたが、投与中止。インフルエンザ、異常行動と ともに回復。	※
28	B07013260	5	年	女性	異常行動	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16	2007/3/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/12 本剤投与開始。 2007/3/13 本剤投与2日目に、異常行動(走りまわって壁にぶつかる。表情が おかしい)が発現。 2007/3/16 本剤の投与を中止。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	症例番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じやな い:×)	寛解直 後に発現 した 異常な 行動	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠障害症 候の既往	睡眠障害症 候の家歴	光に対する 反応	薬剤による 異常な行動 の副作用 使用歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか?)	継続投 与例	
29	B07022413	5	年	女性	虚寒 幻覚 異常行動 幻聴 譫妄	2007/12/30 2007/12/31 2007/12/31 2008/1/1 2008/1/1 2008/1/2 2008/1/2 2008/1/3 2008/1/3 2008/1/4	夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝	○	-	-	-	-	発熱持続中	-	No	No	No	No	No	2007/12/31(4:00) 入眠していたが急に起き上がり、走り回る。友達の名前を呼び、母の背中に虫が見え ると言い始めた。母の背中によじのぼったり、友達の声がか聞こえたと感じた。 母に抱かれてガクガク痙攣発作(?)を繰り返す。母は認識可能。 救急車で病院を受診。受診時、異常行動消失、意識清明。 本剤継続して、1/1より解熱。	*	
30	B07025220	5	年	男性	異常行動	2007/11/13	2007/11/13	×	-	-	-	No	-	-	-	-	-	No	No	2007/11/13 診察時 体温:38.3℃。(夕食後)インフルエンザA型に対して、本剤36mg 内服。体温:37.8℃ →発熱した後、目を覚まし、何かにおびえるように「いやいやだ」と叫び、洗面台によ じ登ろうとする。脱口をじつと見つめる指で指さる。こうした行動を繰り返した。異常 行動(非重篤)発現。 2007/11/14 (朝)起床時もうやや興奮した様子。	*	
31	B07025050	5	年	女性	熱性譫妄	2008/1/28	午後	2008/1/28	×	-	1分	Yes	発熱持続中	No	No	Yes 詳細不明	-	No	No	2008/01/27 (夜)発熱40℃あり。 2008/01/28 受診し、インフルエンザ検査でA型陽性。本剤48mg×2回/日処方。同時 に施行したStrept Aは陰性。午後より内服開始。熱せん完発現(非重篤)。服用後1時 間経たずと熱が下がった。1分間隔ではあるが、くるくると同じ所をまわる様になる 動作をした。発汗ももう(非重篤)発現。 (夜中)鼻出血も出現。 2008/01/28 熱せんもう回復。解熱後の同患者の再発はなし。いれいれなし。 2008/02/02 本剤午後内服終了。	*	
32	B0013388	8	年	不明	激越	-	-	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	(母親からの連絡)服用した後、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが大嫌いで、 以前、他剤でも夜間に暴れたことがあったとのこと。	*	
33	B05021887	8	年	男性	①幻覚 ②譫妄	2008/1/9 2008/1/9 2006/1/10 2006/1/11 2006/1/12	朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕	2008/1/9	×	-	-	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	(15:50)幻覚、興奮状態発現。急に意識もうろうとし、「部屋の隅に黒い服を着た 人がいる」と、おびえるように話し、おぼれた。(18:08)救急車にて来院。来 院時は不醒が強かったが、すぐおとなしくなり、採血等もスムーズに行えた。	*
34	B05023789	6	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2008/01/24 2008/01/25	夕 朝	①2008/01/24 2008/01/27 ②2008/01/24	-	-	Yes	Yes	発熱持続	-	No	No	-	No	No	2008/1/24 (19:00頃)高熱の為受診し、タミフル、シロップ剤、アンピシリン処方 あり。帰宅後発熱し、タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用。(20:00)就寝。(23: 24:00)服用後時間後に隣室で寝かしている部屋から「布団が熱んでいる」と 走って出てくる。母親がなだめ、確認する。幻覚症状発現。(不明)はいかい発 現。 2008/01/25 (午前)起床後タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用させるが直後に 嘔吐。熱39~40℃あり。本日は幻覚症状無し。(19:30)母親より幻覚症状につい ての電話が薬局にあり、本剤の副作用がインフルエンザによるものかどちらの 可能性もある。主治医へ詳しい幻覚症状について伝え、今後の対処方法を 聞く様に伝える。(19:40)主治医へ電話し、本剤の副作用の可能性あるため服用 中止の指示。また坐薬未使用のため、使用するよう指示あり。 2008/1/28 (9:00)薬局より母親へ様子確認の電話。坐薬使用後解熱し口数も 増えてきたとのこと。今後も注意して様子見るように伝える。幻覚ない旨確認す る。(10:00)発熱し、フロモックス服用開始。シロップ剤処方あり。 2008/1/27 母親が来局し様子確認する。熱は全く春陰速に全減するものの 「誰かがいる」と幻覚症状があるとのこと、インフルエンザ脳症の危険性を話し、 受診を勧める。 2008/1/30 幻覚症状回復。(不明)はいかい回復。 2008/1/31 薬局より様子確認の電話を入れる。1/30より元気に通学し、幻覚 等無い事を確認する。	*	
35	B08000168	8	年	男性	異常行動	2008/3/8	19:30	2008/3/8	○	Yes	①未記載 ②- ③-	3~4分	Yes	解熱過程	No	-	-	No	No	2008/1 インフルエンザA型発症。他院にてタミフル5日間内服。 不明「バーンバーンと音がする」という幻聴(3~4分/回)が服用中(5日間)続 いた。(非重篤) 2008/3/8 (12:00)発熱を認め近医受診し、インフルエンザBがうつすらと出てい たため、本剤、抗生剤を併用で処方を受ける。(19:30)タミフル、抗生剤を内服(投 与量不明)。(20:00)嘔吐(回(タミフルの副作用とは考えない)。(21:30)39℃台の 高熱を認めアセトアミノフェン(坐薬)200mgを使用。(23:20)突然起き、「寝っ てくろい」「来ないで」「ここに入らなあかんねん」と言い、母親の足跡の間に自分 の手指を入れたり、制止がきかない程暴れたり(3~4分続き、その後、普通通 りに戻った。近医に電話され、当科紹介となった。(37.6℃) 異常行動発現。 (23:40)当科受診。意識清明。見当識障害なし。入院となった。 2008/3/9 (0:50)脳波検査を施行(異常なし)。インフルエンザ迅速診断テスト実 施し陽性。(7:10)39.2℃。入院中突然起き、「大きなボケモンが起きて起きてと驚 う。」「ボケモンあそこ(枕元)にいる」その後は異常行動なし。(13:00)インフル ンザ陽性(陰性確認(タミフル)鼻咽頭)。その後解熱し、脳波再検査にて異常なし。 2008/3/10 (9:45)退院。	*	
38	B08006859	8	年	女性	①譫妄 ②異常行動	2005/12/19 2005/12/20 2005/12/21	昼過ぎ 昼過ぎ 14:00	2005/12/19 ①2005/12/20 ②2005/12/21	×	No	-	2hr	Yes	発熱持続/ 解熱過程	No	No	No	No	No	①1~2時間して顔を真っ赤にして喋り続けたり、落ち着きなく動き回るようになった。 ②ドアに向かって「お父さん」と、いない父に対して話しかけたり、真っ暗な階段 を昇っていこうとしたりするようになった。周囲の状況がわからない様子だった。	※	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	意識 状態に 変化 あり か	就寝中の 場合、 就寝時 刻から 発現 までの 時間	回復 までの 時間	一過 りして 完全 回復 した か	体温	患者の 記録	睡眠 覚醒 時 等の 変化	睡眠 覚醒 時 等の 変化	光に 対し ての 反応	他剤 による 「異常 な行動」 の 前作 用歴	異常な 行動に 関する 成否 判定	異常な行動の具体的な 詳細 (別:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか?)	継続投 与例	
44	B07026153	6	年	男性	異常行動	2008/2/6 2008/2/7 2008/2/8	午後	2008/2/7	夜	-	-	-	5~10分	Yes	発熱持続中	No	No	-	-	No	2008/02/06 インフルエンザAに對して、本剤33.9mg×2回/日処方。午後より内服開始。 2008/02/07 (夜)39.7°Cの高熱があり、突然起き上がり、室の中を走り回った。訳のわからないことを話し、5~10分間続いた。異常行動(非重篤)発現。その後症状回復。 2008/02/08 (12:30)診察。体温38.7°C。反応は普通で異常なし。本剤午前内服後、投与中止。	*
45	B05020834	7	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2005/12/12	11:00、18:00	2005/12/12	18:00、24:00	○	Yes	1時間、約5時間	5~6分	-	発熱持続	No	-	-	No	不明	2005/12/12 朝、他院にてタミフルドラッグロッキング/kg/日処方される。(11:00)タミフル2mg/kg内服。(18:00)タミフル2mg/kg内服後、寝かせる。(19:00)突然起き出し、ドアノブを強く回し続ける。又、左手に黒い点が見えるなど訴える。(19:10)就寝。(24:00頃)突然起き上がり、同様の行動をとる。(24:10)就寝。救急車にて当院搬送。 2005/12/13 朝、何事もなかったように起床。MRI、血液検査を実施するが、異常は認められなかった。念のために入院したが、異常行動は起こらなかった。	
46	B05023592	7	年	男性	①譫妄 ②失見当識	2008/1/18 2008/1/19	夕 朝-夕	2008/1/19 2008/1/20	21:30、 12:30、 18:50	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/01/18 (夕)インフルエンザ様検査に對して、タミフル50mg投与開始。 2006/01/19 (朝)夕タミフル50mgずつ投与。(21:00頃)眠っていた後突然起き上がり、そこにはいない友人の名前を呼びながら徘徊、急に変わった、物を数える。せん妄(非重篤)、見当識障害(非重篤)発現。(22:00)入院。輸液経路確保、せん妄以外は意識清明で、発熱、感音症状は戻していたが、全身状態は落ち着いていた。 2006/01/20 (13:00)12:30(18:00)眠っていた後開眼後、意味不明な事を言い笑う。問ひかけの返事はあいまい。5~8分続いて寛解。せん妄、見当識障害回復。突然、「うわっ、うわっ」と大声(音声)を出し目を見して両手を振り上げ呼び出した。勢いよく外へ飛び出しなくなかったが、警察に連絡し戻していったところ近所の家に来ているところを発見。異常行動としての時間は約5分くらいのものであった。	
47	B05023597	7	年	男性	異常行動	2008/1/15	朝、18:00	2008/1/14 2008/1/15	夜 18:30	-	-	-	5分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	無	2006/01/13 (朝)発熱あり。(夕18時頃)前夜受診し、インフルエンザの診断で本剤と漢方薬の処方あり。(19時頃)本剤服用。(時間不明)漢方服用。 2006/1/14 (1時頃)睡半開きで寝ていて、母親が「覚だな」と思い見ていた。左腕部の掻痒感のかかるような動き。右上肢屈曲あり。急にひっくり返って寝る様子で叫び出して、外に走り出したり、台所へ駆け上ったりする行動が2回あり(合計の持続は約5分くらい)。家族が抑制し、救急車要請。異常行動発現。(2:30頃)救急車到着時、会話可能であり、四肢運動障害なし。構音障害なし。問視は「まだ少し表情が悪」と。当院緊急外来にて経過観察。(9:00頃)小児科診察時、意識清明。異常行動回復。脳炎、脳症の可能性も否定できず入院。	
48	B05023978	7	年	男性	異常行動	2006/1/13	19:00頃	2006/1/14	AM 1:00頃	-	-	-	数時間	Yes	-	-	-	-	-	不明	2006/01/13 (朝)発熱あり。(夕18時頃)前夜受診し、インフルエンザの診断で本剤と漢方薬の処方あり。(19時頃)本剤服用。(時間不明)漢方服用。 2006/1/14 (1時頃)睡半開きで寝ていて、母親が「覚だな」と思い見ていた。左腕部の掻痒感のかかるような動き。右上肢屈曲あり。急にひっくり返って寝る様子で叫び出して、外に走り出したり、台所へ駆け上ったりする行動が2回あり(合計の持続は約5分くらい)。家族が抑制し、救急車要請。異常行動発現。(2:30頃)救急車到着時、会話可能であり、四肢運動障害なし。構音障害なし。問視は「まだ少し表情が悪」と。当院緊急外来にて経過観察。(9:00頃)小児科診察時、意識清明。異常行動回復。脳炎、脳症の可能性も否定できず入院。	
49	B05025721	7	年	男性	異常行動	2006/2/13	17:00	2006/2/13	22:00	○	Yes	5時間	1時間	No	発熱持続	No	No	-	-	No	2006/2/12 (午後)39.7°C。倦怠感、嘔吐、近頃にてインフルエンザ(-)。 2006/2/13 (午後)39.5°C。近頃にてインフルエンザA型と診断。タミフル処方。(17:00)タミフル1回内服。その後入眠。(22:00)トイレに起き、朝まで排便、階段を昇ったり降りたり、突然笑ったり音声をしたりした。体温38.2°C。 異常行動は約1時間ほど続いた。その後タミフル2回内服させている(異常行動は認められていない)。病院受診はせず、経過観察している。 2006/2/14 朝より解熱。本剤は内服せず。いつもよりボーっとして寝てばかりいる。(夕方)近頃受診し、タミフルの副作用疑いで当院紹介。経過観察のため入院。点滴液(リタT1 200cc、ソリタT3 500cc×2本)元気が出てくる。インフルエンザ軽快。異常行動軽快。 2008/2/15 全身状態良好にて退院。	*
50	B05025722	7	年	男性	異常行動	2006/2/5	15:30	2006/2/5	18:30 17:30	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/5 (9:00)40°Cの発熱。(12:30)前夜受診。インフルエンザと書かれ、タミフル(80.1mg×2/日)、セフトリアキソン、解熱剤処方。(15:30)上記処方薬を内服。(16:30)急に立ち上がり、ケタケタ笑う。トイレにもり大きな音を立てる。一旦入眠。異常行動発現。(17:30)トイレに駆け上り、視線が合わない。フラフラして立てない。物がつかめない。(21:00)39.3°C。解熱剤使用。(23:00)当院受診。 2006/2/6 (1:30)当院入院。入院時、意識清明。異常行動なし。体温39.4°C。 2006/2/7 (日中)以降異常行動なし。脳波、左後頭部に徐波。MRI左側頭葉に高信号。 2006/2/10 異常行動軽快退院。外来での経過観察が必要。	
51	B06025421	7	年	男性	異常行動	2007/2/28	15:00	2007/2/28	17:30	×	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	2年前にも本剤服用あり。前回はなかった。 2007/2/28 他院にて、A型インフルエンザに對して、タミフル処方。(15:00)タミフル5mg内服。(15:30)アセトアミノフェン内服。(17:30)突然立ち上がり、2階から1階に走り降りてきて廊下の中を走り回った。「こわい、こわい」と話しながら、うろろ走り回った。母親が意図を動かないように抱きしめていた(約5分間)。次第に落ち着いてきて、入眠した。(18:50)当院救急室来院。そのときは既にいつもの状態にもどっていた(異常行動回復)。意識清明であったが入院して経過をすることにした。 入院後、水分補給の目的で点滴実施(ソリタT3 500mg×2回/日 ~2/27)、リレンザ10mg×2回/日(~3/3)を処方したところ、解熱。入院後、異常行動は全くみられなかった。(21時)体温:38.9°C 2007/2/27 (3時)体温:39.1°C(7時)体温:37.7°C。退院。インフルエンザ軽快/回復。	
52	B07002051	7	年	男性	異常行動	2007/3/12	11:00	2007/3/12	15:00	-	Yes	-	2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	無	3月12日(11:00)本剤服用。(15:00)ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し10分程度で暴れなくなった。(17:00)当院再診し、診察上意動や不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問ひかけにはわからないと答える。神経学的異常所見を認めず(meningeal signs-)。(夜間)最高40°Cまでfever upするもまた、異常行動認めず。入院した。 3月13日(6:00)体温37°C台まで解熱。母によると、高熱が訴えあるが、そのほか異常は認めなかったとのこと。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	実証 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒定 等の家族歴	睡眠覚醒定 等の家族歴	光に対する 反応	聴力による 「異常な行 動」の動作 履歴	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例
53	B07002058	7	年	男性	異常行動	2007/3/14	18:00	2007/3/15	1:30	○	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	No	3月15日(1:30頃)異常行動発現。起き、2階の階段を下りようとして、その階母親を 踏ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。患者はその後父親に抱きつき、その まま眠ってしまった。	
54	B07002858	7	年	男性	①嘔吐 ②異常行動	2007/4/11 2007/4/12	夕 14:00	2007/4/12	14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能		
55	B07011033	7	年	男性	異常行動	2007/3/22 2007/3/22	朝 夕	2007/3/22	12:00	×	-	-	解熱過程	-	No	-	-	No	No	(2004/08)「入浴後、蒼白となり、数分間意識がなくなることが以前から10回くら いあった」と実母。血液検査：正常。 (2004/09) 脳波検査：正常。EEG：頭頂部を中心に高振幅深、sharp & wave 散 発。年齢とともに減少しており、発作回数を追うことに。その後、発作なし。 2007/3/21 インフルエンザA型と診断。 2007/3/22 (11:30)タミフル1回服用。(12:00過ぎ)興奮、大声を出す(異常行動 発現)。(19:30)タミフル2回目服用。(20:00過ぎ)興奮、大声を出す。目つきがおか しく、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走ると母を抱きとめて制止。	
56	B07012130	7	年	男性	異常行動 意識消失 激怒	2007/3/23 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/25	夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/28	昼	×	-	-	解熱過程	-	-	-	-	No	無	2007/3/28 屋外に飛び出しそうになった。異常行動を起こした。興奮状態でバ ッパとした。(2時間後)2-3分間の意識消失発作。(夜)2-3分間の意識消失発 作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮で眠れない状態になった。	
57	B07013248	7	年	女性	異常行動	2007/2/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	インフルエンザに対して、本剤投与開始。服用後、数時間後に異常行動発現(非 重篤)。ベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえ大事に至らず。左右もわか ない状況で、親のわからないことも言っていたとのこと。	
58	B07013301	7	年	男性	異常行動	2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24	朝 夕 朝 夕	2007/3/24	夜	○	-	-	Yes	-	-	-	-	-	No	2007/3/23 A型インフルエンザに対して、本剤44mg×2回/日投与開始。発症 時自他覚所見：発熱39.3℃(3/23) 咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。 2007/3/24 (夜)本剤内服。異常行動発現(非重篤)。睡眠中、ムクツと起きて2階 に駆け上がった。胸につられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。 本剤投与中止。 2007/3/28 インフルエンザ回復	
59	B07013303	7	年	女性	異常行動	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	12:00 20:00 8:00 20:00 8:00 20:00	2007/2/27	10:00	×	-	8時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	無	2007/2/24 (13:00)発熱(38.4℃)あり。熱あつたが、元気に過ごしていた。 2007/2/26 (12:00)本剤40.5mg内服。(16:00)37.6℃。いつもより落ち着きがない 感じであった。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/27 (8:00)本剤40.5mg内服。(10:00)異常行動発現(非重篤)。37.2℃。 布団でテレビを見ていて、すごいスピードで突然1Fと2Fを何度も昇り降りし、理 解できない独り言を喋っていた。ついには、外へ飛び出そうとして、家人が取り 押さえ、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。理解できないひとり言を 喋っていた。(18:00)症状回復。徐々に落ち着きを取り戻した。(20:00)前日と 比べ、症状安定したため、予定通り本剤40.5mg内服。 2007/02/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。	
60	B07013309	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21	朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/19	-	×	-	-	Yes	-	-	-	-	-	No	2007/3/19 インフルエンザBに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の 本剤服用後1時間ほど意識がおかしくなりベランダへでいこうとした。鍵がか かっている本人がフラフラしてあきれなかった。同日症状回復。 2007/03/21 本剤投与終了。	
61	B07013377	7	年	女性	異常行動	2008/2/21	-	2008/2/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2008/2/21 タミフル(剤形不明)の投与を開始 2008/2/22 異常行動が発現。布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに 置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていたとのこと。	
62	B07013384	7	年	男性	幻聴 幻覚 被害	2007/3/5	18:00	2007/3/5	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/5 (18:30)当院受診し、インフルエンザAと診断。(19:00)本剤40mg× 1日/日の投与開始。(20:00)精神症状(幻聴)、幻覚、せん妄発現(非重篤)。「こ わい」「学校へ行く」等、不可解な発言。突然立ち上がり、外へ出て行くことす る行動あり。親が電話が入り、監視と、症状が軽くなれば緊急病院への受 診を指示。本剤中止指示。(夜)他院受診。受診時特に問題をみとめず、解熱剤 処方のみを受け帰る。 2007/3/6 (12:40)当院受診。夜間も高熱持続し、少しおかしな発言はあったと いうが、意識は保たれていた。一斉、鼻汁、嚔嚔をのみ、カクテルティン 1mg/日、ボラミンDS 2.3g/日分3、アスパリン軟10% 0.4g/日分3を処方した。 以降受診なし。回復したものと思われる。	
63	B07018715	7	年	男性	異常行動	2007/11/10 2007/11/10	朝 20:30	2007/11/11	0:00	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	無	2007/11/09 夜 38.5℃の発熱。 2007/11/10 朝 38.3℃の発熱で来院。インフルエンザA型と診断。以前、熱性虚癇を 起こしたことがある。頭白アトピーが強いので、インフルエンザの予防接種は不可能。 本剤 朝、夕(20:30)服用。 2007/11/11 0:00 起き出しトイレに行くのと母親は思ったが、玄関に向かっていき、 その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえたが、離れてくれ と叫び、罵るなど暴れた。異常行動 発現。 母親が祖母に電話し、泣いている姿をみて涙に返ったように「どうしたの？」と言った。 異常行動 回復。 母親がそのとき抱きしめていた感覚では熱はなかった様子。翌日から本剤投与中止。	
64	B07023001	7	年	女性	夢遊症	2007/12/14 2007/12/15 2007/12/15 2007/12/16	夕 朝 夕 朝	2007/12/15	19:00-20:30	×	-	1時間30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/12/15(19:00-20:30) 横臥中、突然立ち上がり、部屋内を夢遊病のように歩き 回った。	

57